

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2017~2018年度 No.230

3月 月報

那須クラブ会長 主題
地域につなげ那須ワイズ



強調月間：BF
メネット



2月(CS公開講演会)例会 2月15日 於：日本キリスト教団 西那須野教会

2018~2019年度 主題
国際会長：(IP) Moon Sang Bong (韓国)
「私たちは変えられる」
アジア地域会長：(AP) 田中 博之(東京多摩みなみ)
「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事：(RD) 宮内 友弥(東京武蔵野多摩)
「為せば、成る」
北東部長：涌澤 博(仙台青葉城)
「チャンス到来 われら北東部から世界へ」

クラブ役員 事務局
会長：河野 順子
副会長：村田 榮也
書記：田村 修也
書記：藤生 強
会計：村田・鈴木
担当主事：藤生 強
ブリテン：田村・村田

2月例会データー(出席率：83.3%)
在籍者 6名
例会出席者 5名 メネット 2名
ゲスト 2名 ユースリーダー 4名
メイクアップ 1名

今月の聖句
父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの中にあるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしたちの内にあるようにしてください。・・・(後略)
(国際聖句)
ヨハネによる福音書17:21

3月 Happy Birthday
3/13 田村 修也メン

原田 時近

塩谷キャンプ場

昨年は、とちぎYMCA創立40周年を祝うことができた。塩谷キャンプ場は、その5周年記念事業であるから開設35年になる。キャンプ場まで車で15分程に住む私には、沢山の懐かしい思い出がある。町の水力発電所跡地の払い下げ交渉をした。キャンプ場入口までの小川には、クレソンが繁茂し、私だけでなく訪れた人がその恩恵に与った。夏には、地元の教会学校や遠く柏市のYMCAが多くの子供を伴って「ここはテレビも何もないのが良い」と何度も利用してくれた。知る人ぞ知るホタルの住処であった。ある年の秋の夜のこと、台風の中、宿泊中の幼児から小学生20数名の安否確認に駆け付けると、町長も来てくださり、近くの学校まで皆で避難する便宜をはかってくれた。もちろんさくらんぼ幼稚園からは、春に、秋に遠足や芋ほりに訪れていた。今は亡き上野繁三郎夫妻が屋敷跡の大谷石を提供してくださり、ワイズもメネットも据え付けなどの労力奉仕をした。毎年のキャンプ場開きの前には、皆で清掃作業をしたこともある。バザーの益金もキャンプ場のために用いられた年もあった。思い出は尽きない。皆が、塩谷キャンプ場が自分たちの初めて取得した固定資産であることに感謝し愛していた。

それからあの東日本大震災に加えて福島原発事故。塩谷キャンプ場も放射能汚染問題に直面することとなった。次代を担う子供たちを育む立場にある者として、慎重に行動をとるべきことは当然のことと思う。しかし、8年間も放置し、再起に課題を残したことはない、私たちの姿勢を問われなければならないと思う。

皆で もう一度、塩谷キャンプ場のあるべき姿を模索する “ はじめの一步 “ を踏み出しませんか。近くには名水百選で知られる尚仁沢湧水が流れ、県民の森があり、日塩道路が通っています。キャンプ場に沿って荒川が流れ、初夏には蛍が飛び交います。栃木県で一番小さな町にあるキャンプ場は、自然豊かです。星降る学校熊ノ木のプラネタリウム等、学びの場もあります。これから様々な面で、私たちにチャレンジが求められることとなるでしょう。私たちが長年にわたり放置したことを反省し、可能性に溢れた私たちの、YMCAの塩谷キャンプ場を、子供たちのために守り継承してゆきたいと思えます。

日時: 2019年2月15日午後6時30分～8時
場所: 西那須野教会1階ホール
参加者: 河野、田村、原田、藤生、村田の各メン。
原田、田村の各メネット。ゲスト8名。YMCAスタッフ1名。



2月例会は「超高齢化社会で元気に生き抜く!!」シリーズ第2弾『もしもの時』に備え話し合いました。

河野会長が栃木県訪問看護ステーション協議会会長の立場で講義を行いました。

以前から、自身の延命治療の有無や最後を迎えた時に葬式等の希望を家族に宛てて書き示した「エンディングノート」が推奨されていますが、これをもう一歩進めた「アドバンス・ケア・プランニング」について講義をされました。エンディングノートでは、ノートの存在を家族が気付かないことが考えられます。また伝えていたとしても、いざという時にノートを探して内容を確認したり、ノートのことを知らない知人や医療者に説明をしたりと、自身の希望がスムーズに伝わらない可能性が大いにあります。そこで自身の希望を家族や知人、医療者らと日頃から『話し合い』をして、直接伝えておきましょう、という内容でした。



講義を聞いて、確かに話し合っていた方が希望は正確に伝わるし、時間が経てば自身の希望も変わっていくので

話し合っていればその変化も伝わるし、何より自身の希望を一方向的に伝えるのではなく家族、知人、医療者と共用し、理解を得ることがとても大きな意味があると感じました。



そして「話し合い」は高齢者だけではなく若者も「もしもの時」に備えて必要であると感じ

ました。例えば社会保険証の裏面に臓器移植の希望欄がありますが、いざ残された家族はそれだけを見

て「提供します」と言えるでしょうか。日頃から「話し合い」をしていて、自分とは何か、家族に何を残したいか、社会にどう貢献したいか、など伝えていけば、家族も自身の希望を尊重しようと思うはずで、この講義で「アドバンス・ケア・プランニング」の必要性を感じました。

3月第2例会（役員会）報告

日時：3月4日（金）午後12時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

出席者：河野会長、田村副会長、村田副会長、田村メネット

協議事項

1. 3月（ユースリーダー報告会）例会

3月22日（金）午後6時30分から日本キリスト教団西那須野教会で行う。

報告・発表するリーダー

ユースリーダーズフォーラム 小菅 乃愛（による）
日本YMCA大会 寺島 菜月（ぷりん）
2018年度Yキッズ 五十嵐 啓祐（べこ）
金井 修志（しんちゃん）

当日の食事は、カレー。午後より、西那須野教会にて、河野会長を中心に行う。ニンジン、らっきょうは河野。お米とじゃがいもは村田。玉ねぎ、カレールー、肉は購入する。YMCAにおいてある物の確認（カレー皿、スプーン、コップ、はし）。YMCAより借りる物は2升炊きの窯。出席人数の確認。会費500円。時間が余れば、介護の話とゲームを行う。

2. 4月（植樹）例会の件

4月27日（土）を第1候補で営林署との調整を行う。田村副会長に一任。

3・川越ワイズメンズクラブ20周年記念例会 4月27日（土）。活動と重なるので欠席する。

4. 3月ブリテン発行について

5. 4月第2例会（役員会）について、後日相談し決定する。

6. その他（今後の予定）

アジア学院入学式 4月13日（土）。第3回北東部評議会 4月20日（土）。宇都宮ワイズ40周年 5月18日（土）。第22回東日本区大会 6月1日（土）から2日（土）（国立オリンピック記念青少年総合センター）。第28回アジア太平洋地域大会 7月19日（金）～21日（日）（仙台国際センター）

今後の予定

・3月特別例会（2019希望の風揚げ）

日時：3月9日（土）午後1時～

場所：大田原市ふれあいの丘

・3月例会（ユースリーダー報告会）

日時：3月22日（金）午後6時30分～

場所：日本キリスト教団西那須野教会

会費：500円

旧西那須野（那須西原）の緑と水（第71回）

田村修也

この戦争によって新政府は財政窮乏し、三井・小野・島田・鴻池らの豪商に御用金を賦課して、やっと窮状を脱した。

明治四年七月、新政府は懸案の廃藩置県を断行し、一挙に中央集権をつくりあげようとした。したがって会津の新封土は、僅か一年余にして幻の如く消滅してしまった。その状況はまことに悲惨であった。

これによって新政府の任命する県令が地方に派遣され、封建割拠の藩体制は完全に解体されたように見えた。しかし、何時の世でも革命によって権力が移動するとき、反対派は蜂起し、人々は塗炭の苦しみを味わう。お扶持ばなれした士、物価の高騰、新税義務教育の負担と義務兵役に脅える民衆は全国に充満した。その結果が西国における士や農民の蜂起であった。まして数十回に及ぶ戦闘が繰り返された東日本におけるそれは、まさに沸騰点に達しようとしていた。その諜報は刻々と新政府にも達していた。

箒川を越えると、もう旧会津藩に近い。今の塩谷郡の一部はもともと会津領であった。激戦地六斗地・阿久戸・三斗小屋・塩原・関谷も、もうここからは近い。矢板にとどまった理由は、それ以外には考えられない。ここから先は言わば新政府の人々にとっては敵地といってよい。敵地に踏み込んで説得するためには、彼らと共に戦った同志ででなければならない。旧幕府の大人物勝安房守、新政府の太政大臣三条実美卿の同行支援の原因は、ただこの一点にある。

この東北諸県の向背は、新政府の権力擁立の成否を決する。この新政府首脳の新東北出張という積極果敢なる行動と活躍とによって、東北諸県における暴発は抑制され、ここ聚蘆亭に於いて、東北諸県知事と太政大臣との会談が随時行われたのである。

かくして、維新政府の命運をかけた東北鎮撫の策

は〔矢板〕で練られ、勝、大鳥二名の旧幕臣の決死の行動によって達成せられたのではなかったか。それは間一髪をも入れぬきわどいところであった。急遽行動を起こした新政府の真意がこれで判明する。明治新政府はきわどいところで成ったと考えざるを得ない。とするならば、矢板の屋敷に残る「三条実美屋寝の枕」の意も、おのずと明らかであろう。勝・大鳥二名の掛軸の存在も納得できるであろう。大久保利通も一筆を残したが、彼は明治十一年に不平等土族の一撃によって暗殺されてしまう。

五月矢板から引きあげた太政大臣は、翌六月（明治八年）全国地方長官会議を東京に於いて開催、始めて中央集権制度の擁立を見るのであるが、この事はどの歴史年表にも明らかである。

かくして聚蘆亭は、明治維新秘史に重要な位置を占めて登場することになる。特に勝は坂巻家の果たした役割を重視し、且つ坂巻家の人々の人格のただならざるを知り、坂巻姓を矢板姓に変えさせている。かくしてここに「聚蘆亭」の扁額が掲げられたのである。

海舟は明治の元勲の人々を後々まで痛烈に批判する。「全体、今の大臣などは、維新の雲に養成されたなどと、大きな事をいふけれども、実際剣光砲火の下を潜って、死生の間に入り出して、心胆を練り上げた人は少ない。だから、一国の危機に処して惑わず、外交の難関に当って恐れぬ、といふほどの大人物がないのだ、ただ先輩の尻馬に乗って、そして先輩にも及ばないほどの富貴栄華を極めて、独りで天狗になるとは恐れ入った次第だ。先輩が命がけで成就した仕事を譲り受けて、やれ伯爵だとか、侯爵だとかいふような事では仕方がない」と氷川清話でも話している。とすると、この聚蘆亭なる意味も、いささか異なってくる。

「あなた方は太政大臣だ参議だなどといばっているけれども、実は反対なのだ。野末の民草こそが御宝なのだ。いくら維新政府をつくったからとて、民衆を無視して国家には安定も繁栄もありませんよ」という維新政府大官に対する痛烈なる皮肉がこめられているのだと思うほかはない。「俺達は」と云いつつ海舟は「貴様らは」と云う切々たる思いをこめて、この書をのこしたのだ。

このことは、おそらく氷川清話を一読すれば、誰でも理解し得ると思われる。

且つまたこの言葉は、現代日本にもそのまま適用する。政治に対する洞察さえ含んでいる。

はしなくも、聚蘆亭にある勝海舟と大鳥圭介の二書は、かくも大きな歴史のあしあととしてここに残

されているのだ。

そしてこの秘められたる歴史的事実は、後の印南文作・矢板武翁による十八年にも及ぶ困難な那須疏水開削にも、大きな役割を果たすことになるのである
(聚蘆亭異聞 3話 完了)

* 資料提供 1990年8月31日 矢板 玄氏から受領 田村修也

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園
園長・理事長 福本 光男

先日、福祉系の仕事をされている元小学校の先生であった人と話す機会がありました。親の経済格差に話が及んだ際、ご自分の経験を話して下さいました。毎日、ある児童が鉛筆が削り器では削れないほど短くなり指先で持って書いている姿に痛まれなくなり、1人になった時にご自分のものを差し上げたそうです。しかし、それは平等ではないということで、後で問題になったそうです。福祉は1人ひとりのニーズに合わせる事が大切であると言われました。話してある話を思い出したので紹介します。(元)西那須野教会の潮義男牧師の礼拝のお話で、下記新聞の投稿が紹介されました。新聞に掲載されていた元小学校の女性の先生の話です。ご存じの方もおられるかもしれませんが、紹介いたします。

私が小学校の五年生のクラス担任になった時、一人、服装が不潔でだらしく、どうしても好きになれない少年がいました。私は少年の悪いところばかりを記入するようになっていました。ある時、少年の一年生の記録が目にとまりました。「ほがらかで、友達が好きで、人にも親切。勉強も良くでき、将来が楽しみ」とありました。間違いだ。ほかの子の記録に違いない。と私は思いました。二年生の記録を見ると「母親が病気で世話をしなければならず、時々遅刻をする」と、書かれていました。三年生では「母親の病気が悪くなり、疲れていて、教室で居眠りする」、後半の記録には「母親が死亡。希望を失い、悲しんでいる」とありました。四年生になると「父は生きる意欲を失い、アルコール依存症となり、子どもに暴力を振るう」私の胸に激しい痛みが走りました。ダメと決め付けていた子が突然、深い悲しみを生き抜いている生身の人間として、自分の前に立ち現れてきたのです。私が教師として目を開かれた瞬間でした。今まで記録を読んで、その放課後、私は少年に声を掛けました。「先生は

聖園那須老人ホームだより

社会福祉法人イースターヴィレッジ

聖園那須老人ホーム

施設長 赤坂 英昭

浅春の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

「歌のじっちゃん（歌のボランティア田村さん）はこねのけ」今日もAさんが事務室に来ました。体調を崩されていることを入所者の皆さんにはお知らせしていませんでしたので、知的障がいをお持ちのAさんは2か月程来られていないことを大変気にかけておられるようでした。他の入所者の皆さんもあえて口には出さなくとも、みなさん気にかけているようで先週元気な歌声を聞かせていただくことができ、Aさんを始め入所者のみなさん職員も安心感と、心を癒されるひとときを過ごすことができました。心より感謝いたします。また、最近の研究では昔聞いた歌を聴くことが眠っていた記憶を呼び戻すことにつながり認知症の予防効果にもつながると言われている様です。

さて今年の冬は、寒暖の差が激しい日々が続き、雪や雨が少なく乾燥した日々が続いたこともあり、インフルエンザが大流行しました。新聞では、連日学級閉鎖や学校閉鎖の記事が掲載され県内の学校も例外ではなかったようです。また、各地の老人ホームや病院では集団感染による死亡者のニュースも続き県からも注意喚起の文書が届きました。

聖園でも感染症対策委員会を開催し予防マニュアルの確認を行い、職員対象の研修会を開催し、全職員がインフルエンザに対する正しい知識を確認するとともに、職員及び家族の健康状況の確認、入所者の健康状況の確認と把握を医療と連携して実施しました。各入口にて職員や業者などホームに出入りする全員に対して消毒を実施してもらい、入所の皆さんも定期的にうがい等してもらうことにより、入所者の罹患は今のところ出ていません。インフルエンザの流行は、まだ続くとの事ですので、今後も注意していきたいと思えます。そして何よりも大切なのは、職員間の意志の疎通と連携によることと、入所者との信頼関係の構築だと思えます。

今後も法人の理念でもあります、「キリストの愛にならって」入所者や地域の方々から信頼と協力が得られるよう努力していきたいと思えます。

夕方まで教室で仕事をするから、あなたも勉強していかない？ わからないところは教えてあげるから」少年は初めて笑顔を見せた。それから毎日、少年は教室の自分の机で予習復習を熱心に続けた。授業で少年が初めて手を挙げたとき、私に大きな喜びがわき起こった。少年は自信を持ち始めていた。

クリスマスの午後だった。少年が小さな包みを私の胸に押しつけてきた。後で開けてみると、香水の瓶だった。亡くなったお母さんが使っていた物に違いない。私はその一滴をつけ、夕暮れに少年の家を訪ねた。雑然とした部屋で一人本を読んでいた少年は、気がつくやうに飛んできて、先生の胸に顔をうずめて叫んだ。「ああお母さんの匂い！今日はすてきなクリスマスだ」

六年生で先生は少年の担任でなくなった。卒業の時、先生に一枚のカードが届いた。

「先生は僕お母さんのようです。そして、今まで出会った中で一番素晴らしい先生でした」

それから六年。またカードが届いた。

「明日は高校の卒業式です。僕は五年生で先生に担当してもらって、とても幸せでした。おかげで奨学金をもらって医学部に進学することができます」

十年を経て、またカードが来た。

そこには、私に出会えたことの感謝と父親に叩かれた体験があるから、患者の痛みが分かる医者になると記され、こう締めくくられていた。

「僕はよく五年生のときの先生を思い出します。あのままだめになってしまう僕を救って下さった先生を、神様の様に感じます。大人になり、医者になった僕にとって最高の先生は、五年生の時に担任して下さった先生です」

そして1年。

届いたカードは結婚式の招待状でした。「母の席に座って下さい」と一行書き添えられていた。

考えてみると、私たちは毎日家庭で自分の子と出会っている、しかし、来る日も来る日もその出会いが単なる物理的な出会いだけであったらどうだろうか。その子にとって家族は砂漠のようなもので「HOME」（家庭）ではなく、一緒に住んでいる「HOUSE（家）」になってしまっているのではないだろうか。こどもの成長にとって、意味ある出会いは大切です。毎日の生活において、ちょっとした言葉掛けやほめてあげる事が、その子の人生を変えてしまうほど大切な事を改めて考えました。

（しらゆり 2019.3.3 加筆修正）

YMCAだより

【YMCAピンクシャツデー 2月27日(水)】
ピンク色のシャツを着ていじめ反対をアピールする
「ピンクシャツデー」が今年も全国のYMCAで行



われました。この運動は2007年
カナダで、ピンク色のシャツを着た
少年がゲイだといじめられ、それを
聞いた先輩二人がイン

ターネットで呼びかけ
ピンクシャツや小物を身につけ皆で学
校に登校しいじめが自然と無くなった
ことから始まりました。



社会全体がいじめに対して「自分
事として」向き合うこと、そして被
害者と加害者以外の立
場にいる人が「傍観者
にならないこと」が、
いじめられている人を救うことになると
考えます。2月27日は各拠点でピ
ンクに染まりました！



【スプリングプログラムが始まります！】

春休みを楽しもう！

①スベルノスキーキャンプ 3/26(火)～28
(木)

【対象/定員】年中児～中3/30名

【場所】菅平高原スノーリゾート

【参加費】41,900円

②エンジョイ3Days

3/27(水)～30(金)3日間連続日帰り

【対象/定員】年少児～年長児/20名、小1～小6/
20名

【活動内容】

3/27 公園でいっぱい遊ぼう！(とちぎわんぱく
公園)

3/28 自分だけのピザ、デザートを作ろう！(さ
くらんぼ幼稚園)

3/29 好きな動物はいるかな？(桐生が岡動物園)

【参加費】14,520円

スプリングチョイス

4/1(月)～7(日)

【対象/定員】年少児～年長児/20名、小1～小6/
20名

チョイス⑥年少児～大人/40名

【活動内容】

①4/1 楽しく体を動かそう！(さくらんぼ幼稚
園)

②4/2 スケートへ行こう！(日光霧降アイスア
リーナ)

③4/3 上野動物へ行こう！(上野動物園)

④4/4 いちご狩り！お花見！春を満喫しよう！
(出会いの森いちご園・千手山公園)

⑤4/5 まち探検！レッツウォークラリー！(宇都
宮市内)

⑥4/7 レッツ！ポケGO！(宇都宮市内・足利フ
ラワーパーク)

【参加費】

チョイス①2,380円

チョイス②～④6,180円

チョイス⑤3,810円

チョイス⑥3,240円



【とちぎYMCA・那須YMCA3月・4月上旬の
予定】

・3/2(土) サタデークラブ@西那須野幼稚園(凧
揚げ)

・3/3(日) Yキッズ@葛西臨海水族園

・3/4(月)～6(水) 北関東YMCAスキーリー
ダートレーニング(2名のスタッフと4名のリー
ダーが参加)

・3/9(土) 2019希望の凧揚げ@那須会場

サタデークラブ@西那須野幼稚園(凧揚げ)

・3/10(日) 2019希望の凧揚げ@宇都宮・足
利会場

・3/16(土) 西那須野幼稚園卒園式出席

・3/17(日) 春スキーキャンプ打合せ会@宇都宮
YMCA

・3/26(火) スプリングプログラムスタート(合
計4本)

・4/1(月) 就業礼拝@宇都宮YMCA

・4/1(月)～3(水) 新入職員研修@宇都宮YM
CA・トライ東

・4/6(土) とちぎYMCA職員歓送迎会@宇都宮
YMCA

編集後記

・リーダーのつぶやきはお休みとさせていただきます。

・後期会費の納入をお願いします。